この表の読み方

情報資産管理台帳とリスク値算定　株式会社サンプル企業　作成 2026-09-29　版 1.0

1. この表で分かること

当社が扱う情報を 1 行ずつ書き出し（台帳）、漏れた・壊れた・使えなくなったときの危なさを
点数（リスク値）にして、どれから手を打つかを決めるための表です。

2. シートの順番と役目（シート名を押すと、そのシートへ移ります）

シート	書いてあること	誰が・いつ直すか
この表の読み方	このシート	総務・版を上げるとき
情報資産管理台帳	情報資産 18 行。重要度は式で出る（個人情報を含む行は 3）	総務・毎年 4 月と、業務や取引先が増えたとき
リスク値算定	脅威と脆弱性を入れると、被害発生可能性・リスク値・判定・優先順位が式で出る	総務・同上。対策が終わったら脆弱性を直す
対策の計画	優先順位の高い順に、対策・担当・期限を引く（順位が変わると並びも変わる）	触らない（式だけ）
評価の基準	機密性・完全性・可用性、脅威、脆弱性の付け方（IPA の文言）と当社の例	IPA が改訂したとき
ネットワーク機器台帳	ルーター・スイッチ・無線 LAN	総務・機器を入れ替えたとき
ソフトウェア台帳	OS・会計ソフト・CAD/CAM など	総務・入れたとき・やめたとき
ハードウェア台帳	PC・NAS・複合機など	総務・買ったとき・捨てたとき

3. 計算の式（IPA 付録6 のとおり）

項目	式	例: 客先支給の図面データ
重要度	機密性・完全性・可用性の最大値。個人情報を含むときは 3（本編 p.44）	最大値 3 → 3
被害発生可能性	脅威の発生頻度 ÷（4 − 脆弱性）を、小数点以下を切り上げ	3 ÷（4 − 3）= 3
リスク値	被害発生可能性 × 重要度	3 × 3 = 9
判定	6 以上 = リスク大／4 = リスク中／3 以下 = リスク小	リスク大

4. 欄の見分け方

・見出しに「（式）」とある列は計算される欄です。灰色の地にしてあります。上書きしないでください。
・見出しに「（入力）」とある列だけを書き換えれば、重要度・リスク値・判定・順位・対策の計画が計算し直されます。
・入力の欄の多くは、欄を選ぶと候補（プルダウン）と書き方が出ます。
・判定は「リスク大」などの文字で出ます。色は補いで、色が見えなくても読めます。

5. 確かさの区別

・台帳の「確かめ方」の列: 実査 = 現物を見て確かめた／聞き取り = 担当者に聞いただけ。
　聞き取りの行は、次の見直しで実査に替えます。
・リスク値算定の「対策後」の 2 列は見込みです。対策を終えて確かめたら「脆弱性」を書き換えます。

6. 印刷

・どのシートも A4 の 1 枚に収まります（このシートは縦、ほかは横）。見出しの行は各ページにくり返します。

出典

IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）
付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p.44〜46
情報資産・評価値・対策は、当社の実査（2026-09-05〜19）と担当者への聞き取りによる。

シートの一覧（押すと、そのシートへ移ります）

→ 情報資産管理台帳
→ リスク値算定
→ 対策の計画
→ 評価の基準
→ ネットワーク機器台帳
→ ソフトウェア台帳
→ ハードウェア台帳

情報資産管理台帳

← この表の読み方へ

IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p.44〜46 の様式（11 項目）に、個人情報の有無と確かめ方を足した

No.	業務分類	情報資産名称	備考	利用者の範囲	管理部署	管理者名	管理者連絡先	媒体・保存先	個人情報（入力）	機密性（入力）	完全性（入力）	可用性（入力）	重要度（式）	保存期限	登録日	確かめ方
1	設計・製造	客先支給の図面データ	取引先から秘密として預かる。142 社ぶん	生産管理・現場	製造部	製造部長	内線 21	社内サーバー（NAS）	—	3	3	3	**3**	取引終了後 3 年	2026-09-29	実査
2	設計・製造	NC プログラム	自社のノウハウ（段取りの勘所）	現場（旋盤・フライス）	製造部	製造部長	内線 21	各機械のメモリと NAS	—	3	3	3	**3**	期限なし	2026-09-29	実査
3	設計・製造	検査成績書	客先に出す品質の記録	生産管理・検査	製造部	製造部長	内線 21	社内サーバー（NAS）	—	2	3	2	**3**	7 年	2026-09-29	聞き取り
4	営業	受注台帳.xlsx	2,847 行。単価が入る	営業 2 名・生産管理	営業部	営業課長	内線 31	共有フォルダ（NAS）	—	2	3	3	**3**	7 年	2026-09-29	実査
5	営業	取引先リスト・単価表	営業秘密（不正競争防止法）	営業 2 名・代表	営業部	代表	内線 10	共有フォルダ（NAS）	—	3	3	2	**3**	期限なし	2026-09-29	実査
6	営業	注文書・見積書（電子）	メールで届いた PDF。月 100 件ほど	営業 2 名	営業部	営業課長	内線 31	共有フォルダ（NAS）	—	2	3	2	**3**	7 年	2026-09-29	実査
7	営業	注文書（紙）	FAX で届いた原本。月 180 件ほど	営業 2 名	営業部	営業課長	内線 31	書類（営業の書棚）	—	2	2	2	**2**	7 年	2026-09-29	実査
8	製造	実績.xlsx	18,402 行。工程の実績時間	生産管理	製造部	製造部長	内線 21	共有フォルダ（NAS）	—	1	2	2	**2**	7 年	2026-09-29	聞き取り
9	人事	従業員の個人情報	履歴書・雇用契約書。38 名ぶん	総務・代表	総務	代表	内線 10	書類（施錠した書棚）	有	3	3	2	**3**	退職後 5 年	2026-09-29	実査
10	人事	従業員の個人情報	同上の電子データ	総務・代表	総務	代表	内線 10	事務所 PC（会計用 1 台）	有	3	3	2	**3**	退職後 5 年	2026-09-29	実査
11	人事	給与データ	マイナンバーを含む	総務・代表	総務	代表	内線 10	事務所 PC（会計用 1 台）	有	3	3	2	**3**	7 年	2026-09-29	実査
12	経理	会計データ・決算書	自社の会計情報	経理・代表	総務	代表	内線 10	事務所 PC（会計用 1 台）	—	2	3	2	**3**	10 年	2026-09-29	実査
13	経理	インターネットバンキング	送金ができる	代表のみ	総務	代表	内線 10	社外サーバー（銀行）	—	3	3	3	**3**	—	2026-09-29	聞き取り
14	共通	電子メール（chuumon@ ほか）	注文書が届く経路	全社	総務	代表	内線 10	社外サーバー（レンタルサーバー）	—	2	2	3	**3**	3 年	2026-09-29	実査
15	共通	共有フォルダ（NAS 本体）	上の大半がここにある	全社	総務	代表	内線 10	社内サーバー（NAS）	—	3	3	3	**3**	—	2026-09-29	実査
16	共通	バックアップ用 外付け HDD	NAS の複製。週 1 回	総務	総務	代表	内線 10	可搬電子媒体（書棚）	—	3	3	2	**3**	—	2026-09-29	実査
17	共通	無線 LAN のパスワード	全社で 1 つを共用。事務所に掲示	全社	総務	代表	内線 10	掲示物	—	2	1	2	**2**	—	2026-09-29	実査
18	共通	製品カタログ・会社案内	公開している情報	全社	営業部	営業課長	内線 31	社外サーバー（ホームページ）	—	1	1	1	**1**	—	2026-09-29	聞き取り

重要度（式）= 機密性・完全性・可用性の最大値。ただし個人情報を含む行は 3（IPA 本編 p.44）。書類と電子データの両方で持つものは 2 行に分けた（付録6 の利用方法）。

出所: IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p.44〜46。評価は当社の実査と聞き取り（2026-09）

リスク値算定

← この表の読み方へ

台帳の行を引き、脅威と脆弱性からリスク値を出す。対策と、対策後の見込みも同じ行に書く

No.	情報資産名称（台帳から）	媒体・保存先（台帳から）	重要度（台帳から）	想定される事故	脅威の発生頻度（入力）	脆弱性（入力）	被害発生可能性（式）	リスク値（式）	判定（式）	優先順位（式）	対応の区分（入力）	対策	誰が	いつまでに	対策後の脆弱性（入力・見込み）	対策後のリスク値（式）
1	客先支給の図面データ	社内サーバー（NAS）	3	USB で持ち出され、紛失・流出する	3	3	3	9	リスク大	1	低減	USB への書き出しを止める。持ち出しは製造部長の承認制にし、記録を残す	製造部長	2027-02-26	1	3
2	NC プログラム	各機械のメモリと NAS	3	機械のメモリの複製が持ち出される・消える	2	3	2	6	リスク大	4	低減	NAS 側を正本と決め、機械からの持ち出しを記録する	製造部長	2027-03-31	2	3
3	検査成績書	社内サーバー（NAS）	3	書き換え・消失	2	2	1	3	リスク小	11	保有	当面は今の扱いを続ける（NAS の権限整理に合わせて見直す）	—	—	2	3
4	受注台帳.xlsx	共有フォルダ（NAS）	3	誰でも開けて上書きできる。誤って消す	3	3	3	9	リスク大	2	低減	営業と生産管理だけが書き込めるようにし、他は読み取りのみにする	営業課長	2026-12-28	1	3
5	取引先リスト・単価表	共有フォルダ（NAS）	3	退職者も見られる状態だった	2	3	2	6	リスク大	5	低減	見られる人を 3 名に限る。退職の日に権限を外す手順を入れる	代表	2027-01-29	1	3
6	注文書・見積書（電子）	共有フォルダ（NAS）	3	誤った宛先への送信・ウイルス付きの添付	3	2	2	6	リスク大	6	低減	送信前の宛先の確認を手順にする（業務マニュアル 受注の受け方）	営業課長	2026-12-28	1	3
7	注文書（紙）	書類（営業の書棚）	2	受信トレイに置いたまま来客の目に触れる	2	2	1	2	リスク小	17	低減	FAX の受信トレイを営業の机の内側へ移す	営業課長	2026-11-30	1	2
8	実績.xlsx	共有フォルダ（NAS）	2	誤って消す	2	3	2	4	リスク中	10	低減	共有フォルダの権限整理に合わせて扱う	総務	2027-01-29	2	2
9	従業員の個人情報	書類（施錠した書棚）	3	鍵の掛け忘れ	1	2	1	3	リスク小	12	保有	今の扱い（施錠）を続け、年 1 回確かめる	総務	毎年 4 月	2	3
10	従業員の個人情報	事務所 PC（会計用 1 台）	3	PC の故障・盗難	2	2	1	3	リスク小	13	低減	会計用 PC の暗号化と、NAS への週 1 回の複製	総務	2026-12-28	1	3
11	給与データ	事務所 PC（会計用 1 台）	3	PC の故障・盗難	2	2	1	3	リスク小	14	低減	同上（会計用 PC の暗号化）	総務	2026-12-28	1	3
12	会計データ・決算書	事務所 PC（会計用 1 台）	3	PC の故障	1	2	1	3	リスク小	15	保有	今の扱いを続ける（複製は上の対策に含まれる）	—	—	2	3
13	インターネットバンキング	社外サーバー（銀行）	3	なりすましの送金	2	2	1	3	リスク小	16	低減	多要素認証を入れ、振込の上限額を下げる	代表	2026-11-30	1	3
14	電子メール（chuumon@ ほか）	社外サーバー（レンタルサーバー）	3	ウイルス付きのメール（月 3〜5 通届いている）	3	3	3	9	リスク大	3	低減	多要素認証を入れ、添付の開き方を 1 枚にして全員に配る	代表	2026-12-28	2	6
15	共有フォルダ（NAS 本体）	社内サーバー（NAS）	3	誰でも全部が見える。故障で全部が消える	2	3	2	6	リスク大	7	低減	部署ごとにアクセス権を分ける（人事・経理から）	総務	2027-01-29	2	3
16	バックアップ用 外付け HDD	可搬電子媒体（書棚）	3	戻す訓練を一度もしていない。暗号化なし	2	3	2	6	リスク大	8	低減	年 1 回、実際に戻す訓練をする。暗号化する	総務	2027-03-31	1	3
17	無線 LAN のパスワード	掲示物	2	退職者や来客が業務の LAN に入れる	3	3	3	6	リスク大	9	回避	業務用と来客用を分け、業務用は登録した機器だけにする。掲示をやめる	代表	2026-11-30	1	2
18	製品カタログ・会社案内	社外サーバー（ホームページ）	1	書き換え	1	2	1	1	リスク小	18	保有	対策しない（公開情報）	—	—	2	1

被害発生可能性（式）= ROUNDUP(脅威の発生頻度 ÷（4 − 脆弱性）, 0)／リスク値（式）= 被害発生可能性 × 重要度／判定: 6 以上 = リスク大・4 = リスク中・3 以下 = リスク小（IPA 付録6 の式のまま）

優先順位（式）= リスク値の大きい順。同じ値は台帳の上の行を先にする。対策の計画シートはこの順位で並ぶ

対応の区分（IPA 本編 p.46）：低減 = 対策で起きにくくする／保有 = 受け入れて今のままにする／回避 = やり方を変えてリスクをなくす／移転 = 保険や外部のサービスに移す

出所: IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p.44〜46。対策後の脆弱性は見込み（実施して確かめたら脆弱性の列を書き換える）

← この表の読み方へ

対策の計画（リスク値の大きい順）

リスク値算定の優先順位 1〜10 位を引く（作成時点でリスク大・中の件数）。順位が変わると、この表の並びも変わる

順位	情報資産名称	媒体・保存先	リスク値	判定	想定される事故	対応の区分	対策	誰が	いつまでに	対策後のリスク値（見込み）
1	客先支給の図面データ	社内サーバー（NAS）	9	リスク大	USB で持ち出され、紛失・流出する	低減	USB への書き出しを止める。持ち出しは製造部長の承認制にし、記録を残す	製造部長	2027-02-26	3
2	受注台帳.xlsx	共有フォルダ（NAS）	9	リスク大	誰でも開けて上書きできる。誤って消す	低減	営業と生産管理だけが書き込めるようにし、他は読み取りのみにする	営業課長	2026-12-28	3
3	電子メール（chuumon@ ほか）	社外サーバー（レンタルサーバー）	9	リスク大	ウイルス付きのメール（月 3〜5 通届いている）	低減	多要素認証を入れ、添付の開き方を 1 枚にして全員に配る	代表	2026-12-28	6
4	NC プログラム	各機械のメモリと NAS	6	リスク大	機械のメモリの複製が持ち出される・消える	低減	NAS 側を正本と決め、機械からの持ち出しを記録する	製造部長	2027-03-31	3
5	取引先リスト・単価表	共有フォルダ（NAS）	6	リスク大	退職者も見られる状態だった	低減	見られる人を 3 名に限る。退職の日に権限を外す手順を入れる	代表	2027-01-29	3
6	注文書・見積書（電子）	共有フォルダ（NAS）	6	リスク大	誤った宛先への送信・ウイルス付きの添付	低減	送信前の宛先の確認を手順にする（業務マニュアル 受注の受け方）	営業課長	2026-12-28	3
7	共有フォルダ（NAS 本体）	社内サーバー（NAS）	6	リスク大	誰でも全部が見える。故障で全部が消える	低減	部署ごとにアクセス権を分ける（人事・経理から）	総務	2027-01-29	3
8	バックアップ用 外付け HDD	可搬電子媒体（書棚）	6	リスク大	戻す訓練を一度もしていない。暗号化なし	低減	年 1 回、実際に戻す訓練をする。暗号化する	総務	2027-03-31	3
9	無線 LAN のパスワード	掲示物	6	リスク大	退職者や来客が業務の LAN に入れる	回避	業務用と来客用を分け、業務用は登録した機器だけにする。掲示をやめる	代表	2026-11-30	2
10	実績.xlsx	共有フォルダ（NAS）	4	リスク中	誤って消す	低減	共有フォルダの権限整理に合わせて扱う	総務	2027-01-29	2

この表は式だけで、手で書き換えない。対策を終えたら「リスク値算定」の脆弱性を直すと、リスク値と順位が計算し直され、この表の並びが変わる。

リスク小の行は当面そのままとし（保有）、毎年 4 月の見直しで改めて評価する。

評価の基準

← この表の読み方へ

IPA 付録6「重要度定義」と「利用方法」の文言をそのまま使い、当社の例を足した。迷ったら重い方を選ぶ

観点	値	IPA の基準	当社の例
機密性	3	法律で安全管理が義務付けられている／守秘義務の対象や限定提供データとして指定されている／自社の営業秘密として管理すべき	客先の図面・個人情報・取引先リスト・単価表
	2	漏えいすると事業に大きな影響がある	見積書・受注台帳・注文書
	1	漏えいしても事業にほとんど影響はない	製品カタログ・会社案内
完全性	3	法律で安全管理が義務付けられている／改ざんされると自社に深刻な影響または取引先や顧客に大きな影響がある	個人情報・会計データ・客先の図面・NC プログラム
	2	改ざんされると事業に大きな影響がある	実績データ・注文書（紙）
	1	改ざんされても事業にほとんど影響はない	製品カタログ
可用性	3	利用できなくなると自社に深刻な影響または取引先や顧客に大きな影響がある	共有フォルダ・NC プログラム・受注台帳
	2	利用できなくなると事業に大きな影響がある	検査成績書・実績データ
	1	利用できなくなっても事業にほとんど影響はない	製品カタログ
重要度	—	機密性・完全性・可用性の最大値。事故が起きると法的責任を問われる・企業の存続を左右しかねない・個人情報を含む場合は 3（本編 p.44）	従業員の個人情報・給与データは 3
脅威の発生頻度	3	通常の状況で脅威が発生する（いつ発生してもおかしくない）	ウイルス付きのメール（月 3〜5 通）
	2	特定の状況で脅威が発生する（年に数回程度）	PC の故障・持ち出しの紛失
	1	通常の状況で脅威が発生することはない	施錠した書棚の書類
脆弱性	3	対策を実施していない（ほぼ無防備）	無線 LAN のパスワードを全社で共用・掲示
	2	部分的に対策を実施している	複製はあるが戻す訓練をしていない
	1	必要な対策をすべて実施している	（対策を終えた後の値）

出所: IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p.44〜46

← この表の読み方へ

ネットワーク機器台帳

情報資産管理台帳の各資産が通るネットワークの機器（IPA 第 4.0 版で追加された台帳）

No.	ネットワーク名	所在地	IP アドレスの範囲	利用目的	機器の名称	種別	製造元・型番	OS・ファーム	設置場所	管理部署	管理者名	保守事業者名	契約情報	購入日
1	業務用 LAN	本社	192.168.10.0/24	事務 PC・NAS・複合機	ルーター（UTM 機能付き）	ルーター	サンプル電機 RT-200	最新に更新済み	事務所 ラック	総務	代表	サンプル情報サービス	保守契約（年額）	2022-04-08
2	業務用 LAN	本社	192.168.10.0/24	事務所内の配線	スイッチ（16 口）	スイッチ	サンプル電機 SW-16	—	事務所 ラック	総務	代表	サンプル情報サービス	同上	2022-04-08
3	工場 LAN	本社工場	192.168.20.0/24	NC プログラムの転送	スイッチ（8 口）	スイッチ	サンプル電機 SW-8	—	工場 事務室	製造部	製造部長	サンプル情報サービス	同上	2023-06-02
4	無線 LAN（業務用）	本社	192.168.10.0/24	事務所のノート PC	無線アクセスポイント	無線 LAN	サンプル電機 AP-6	要更新	事務所 天井	総務	代表	—	—	2021-09-15
5	無線 LAN（来客用）	本社	（業務用と分ける予定）	来客のインターネット	無線アクセスポイント（新設予定）	無線 LAN	—	—	応接室	総務	代表	—	—	2026-11 予定

出所: IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p.44〜46 の同名のシートの項目。機器名・台数は当社の実査（2026-09）。製造元と保守事業者は架空の会社名

ソフトウェア台帳

← この表の読み方へ

業務で使うソフトウェアと利用登録（IPA 第 4.0 版で追加された台帳）

No.	名称	種別	製造元	OS	インストール先	登録者名	ライセンス数（本）	管理部署	管理者名	保守事業者名	購入日・更新日
1	パソコンの OS（Windows 11 Pro）	OS	マイクロソフト	—	事務用 PC 16 台・会計用 1 台	総務	17	総務	代表	—	自動更新
2	ウイルス対策（OS 標準の機能）	セキュリティ	マイクロソフト	Windows 11	全 PC	—	17	総務	代表	—	自動更新
3	会計ソフト（パッケージ版）	業務アプリ	市販品	Windows 11	会計用 PC 1 台	総務	1	総務	代表	サンプル税理士法人（設定の支援）	2025-04-01
4	給与計算ソフト	業務アプリ	市販品	Windows 11	会計用 PC 1 台	総務	1	総務	代表	—	2025-04-01
5	CAD/CAM ソフト	業務アプリ	市販品	Windows 11	生産管理の PC 2 台	製造部	2	製造部	製造部長	サンプル情報サービス	2024-07-01
6	表計算ソフト（受注台帳・実績）	業務アプリ	マイクロソフト	Windows 11	事務用 PC 16 台	総務	16	総務	代表	—	年間契約
7	NAS の管理ソフト（ファームウェア）	ファームウェア	サンプル電機	—	NAS 1 台	総務	1	総務	代表	サンプル情報サービス	要更新

出所: IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p.44〜46 の同名のシートの項目。

機器名・台数は当社の実査（2026-09）。製造元と保守事業者は架空の会社名

ハードウェア台帳

← この表の読み方へ

業務で使う機器（IPA 第 4.0 版で追加された台帳）

No.	名称	製造元・型番	管理番号	台数(台)	設置場所	管理部署	管理者名	保守事業者名	購入日
1	事務用 PC	市販品（機種は混在）	PC-01〜16	16	事務所	総務	代表	—	2023-04-03
2	会計用 PC	市販品	PC-K1	1	事務所（施錠した部屋）	総務	代表	—	2024-04-01
3	生産管理の PC	市販品	PC-S1〜2	2	工場 事務室	製造部	製造部長	—	2023-06-02
4	NAS（共有フォルダ）	サンプル電機 NAS-4	NAS-01	1	事務所 ラック	総務	代表	サンプル情報サービス	2021-09-15
5	外付け HDD（バックアップ）	サンプル電機 HD-4T	HDD-01〜02	2	事務所 書棚（施錠）	総務	代表	—	2024-01-10
6	複合機（FAX 受信を含む）	サンプル事務機 MF-30	MFP-01	1	事務所	総務	代表	リース会社	2024-10-01
7	ルーター（UTM 機能付き）	サンプル電機 RT-200	NW-01	1	事務所 ラック	総務	代表	サンプル情報サービス	2022-04-08

出所: IPA『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第4.0版』（2026-03-27 公開）付録6「資産管理台帳（サンプル）」・本編 p. 44〜46 の同名のシートの項目。機器名・台数は当社の実査（2026-09）。製造元と保守事業者は架空の会社名